

科目名	栄養指導論Ⅱ	科目分類	<input type="checkbox"/> 基礎教育科目 <input checked="" type="checkbox"/> 専門教育科目
		開講年次	<input type="checkbox"/> 1年 <input checked="" type="checkbox"/> 2年
英文表記	Nutrition Education Ⅱ	開講期間	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 通年 <input type="checkbox"/> 集中
ふりがな	ささ だ よう こ	授業形態・修得単位	講義・2単位
担当教員名	笹 田 陽 子	実務家教員担当科目	
授業のテーマ	対象者（個人または集団）の栄養評価と栄養診断を踏まえ、栄養介入のための栄養教育プログラムの計画立案の方法を修得する。		
授業概要	栄養指導論Ⅰで学んだ内容を踏まえた上で、栄養教育マネジメントサイクルの詳細、栄養指導の方法、ライフステージ、ライフスタイル別特性等を解説する。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養教育を進めるうえで必要な生活習慣と健康・食生活との関連を説明できる。 2. 個人または集団を対象とした栄養教育マネジメントサイクルを説明できる。 3. ライフステージ、ライフスタイル別の栄養評価と栄養診断の結果を踏まえ、栄養介入のための栄養教育プログラムの計画立案の方法を説明できる。 		
授業時間外の学習	事前学修：事前に次の授業箇所を説明するので教科書を読んでおく（90分） 事後学修：授業終了時に出す課題に取り組み次の授業に臨むこと（90分）		
履修条件	栄養指導論Ⅰの単位を修得していることが望ましい。		
授業計画			
第1回	テーマ：ガイダンス 栄養教育マネジメントサイクル		
第2回	テーマ：栄養教育と社会・生活とのかかわり① 栄養教育と社会・生活		
第3回	テーマ：栄養教育と社会・生活とのかかわり②栄養・食生活と環境づくり		
第4回	テーマ：栄養教育と社会・生活とのかかわり③食環境の整備と栄養教育		
第5回	テーマ：栄養教育の方法①教育形態（個別教育・集団教育）		
第6回	テーマ：栄養教育の方法②教育方法の選択		
第7回	テーマ：ライフステージ、ライフスタイル別栄養教育① 妊婦・授乳婦の栄養教育		
第8回	テーマ：ライフステージ、ライフスタイル別栄養教育② 乳児期・幼児期の栄養教育		
第9回	テーマ：ライフステージ、ライフスタイル別栄養教育② 学童期・思春期の栄養教育		
第10回	テーマ：ライフステージ、ライフスタイル別栄養教育③ 高齢期の栄養教育		
第11回	テーマ：ライフステージ、ライフスタイル別栄養教育④ 成人期の栄養教育		
第12回	テーマ：ライフステージ、ライフスタイル別栄養教育⑤ 傷病者及び障がい者		
第13回	テーマ：ライフステージ、ライフスタイル別栄養教育⑥ 災害時の栄養教育活動		
第14回	テーマ：栄養教育の方法③プレゼンテーション技術		
第15回	テーマ：栄養教育の方法④教育内容の精選と具体的な見せ方		
第16回	定期試験		
テキスト	笠原賀子他：「栄養教育論第4版」講談社サイエンティフック		
参考文献・資料	日本人の食事摂取基準2020 プリントを配布する		
成績評価の方法	出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。定期試験（60%）、課題レポート（40%）で総合的に評価する。		
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)		
オフィスアワー	授業終了時、教室で質問等を受けます。		
受講生に望むこと・受講のルール	積極的に授業に参加すること。事前学修・事後学修の時間をとること		